

ブラックホールメイト

2013年 7月13日 土
18:00 ~ 20:30

場所：大阪市立科学館
プラネタリウムホール

2013年7月、銀河系中心のブラックホールに巨大なガス塊が大接近！
ブラックホールの研究者とともに、最新の研究成果に興奮する特別な夜！

概要

日時：2013年7月13日（土）
18:00 ~ 20:30（開場 17:30）
場所：大阪市立科学館プラネタリウムホール
対象：一般（高校生以上）
定員：300名
料金：一般 1000円、高校生は無料
参加方法：以下の方法でご参加ください。

- ① ネット事前申し込み
(高校生の方は、当日学生証をご提示ください。)
- ② 前売り(科学館チケットカウンターで販売)
(高校生の方は、購入時に学生証をご提示ください。)

※高校生の方でも、お申し込み(チケット)は必要です。
※くわしくは裏面をご覧ください。

当日スケジュール

- 17:30 開場(受付)
- 18:00 プラネタリウム「ブラックホール」投影
- 18:20 講演1 石原秀樹
「相対論が予言するブラックホールとは…」
- 19:00 講演2 神田展行
「観測で探すブラックホール：重力波と天体探索」
- 19:30 講演3 小林泰三
「ブラックホールの楽しみ方」
- 20:00 パネルディスカッション
「この夏、ブラックホールのナニがアツい？」
- 20:30 終了

※スケジュール・内容は変更される場合があります。

会場

大阪市立科学館

〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1
電話 06-6444-5656

Osaka Science Museum

ホームページ <http://www.sci-museum.jp/> 開館時間 9:30 ~ 17:00

アクセス

- ・地下鉄四つ橋線「肥後橋駅」3号出口から西へ約500m
- ・京阪中之島線「渡辺橋駅」②出口から南西へ約400m

休館日

毎週月曜日(7月15日、8月12日は開館)、7月16日(火)



スクープ！この夏、銀河系中心で大事件！

天の川銀河の中心には、太陽約 400 万個分の質量をもつ巨大ブラックホールがあります。この巨大ブラックホールに向かって、G2 と呼ばれる、地球 3 個分の質量をもつガスのかたまりが時速 800 万 km (!) で接近中です。天文学者たちは、2013 年 7 月に最接近するだろう、と予測しています。最接近時のこれらの距離は、たったの 400 億 km。これは太陽から海王星までの距離のたった 10 倍程度です。

このガスのかたまりは巨大ブラックホールへの接近に伴って、だんだんと引き裂かれていきます。そして最終的には、ブラックホールに飲み込まれてしまうだろうと考えられています。

ブラックホールに近づきすぎるとどうなるか、CG でしか見たことのないような光景を、人類ははじめて目撃することになります！



●参加方法：事前のお申し込みが必要です

①ネットでの事前申し込みができます

大阪市立科学館ホームページ <http://www.sci-museum.jp/> にアクセスし、“イベント案内”のページからお申し込みください。※参加料金(1,000 円)は、当日お支払いただけます。

②前売り券があります

大阪市立科学館・地下 1 階チケットカウンターで販売しております。

※①、②ともにチケット販売は定員になり次第終了とさせていただきます。

パネリスト紹介



石原秀樹 (いしはら ひでき)

大阪市立大学大学院理学研究科 教授。基礎物理学講座に属し、一般相対性理論を基礎として、宇宙の始まりやブラックホールの構造などを理論的に研究している。最近では、高次元時空におけるブラックホールの性質、ブラックホールの周りでの粒子や広がりをもつ物体の運動などについて調べている。これらの研究が、ブラックホールの観測的検証と結びつくことを目指している。



神田展行 (かんだ のぶゆき)

大阪市立大学大学院理学研究科 教授。宇宙・高エネルギー物理学講座に属し、現在の研究分野は重力波宇宙物理学(実験)。現在建設中の KAGRA 計画でデータマネジメントの責任者を務める。また、重力波源が同時に放出する光、X線・ガンマ線、ニュートリノなどを観測するグループと共同して研究に取り組み、重力波による物理・天文の新しい展開をめざしている。4つの基本相互作用すべてにかかわる研究を経験したい、というのが物理学者としての大目標。



小林泰三 (こばやし やすみ)

1962 年、京都府生まれ。SF 作家。大阪大学基礎工学部卒業、同大学院終了。95 年『玩具修理者』で第 2 回日本ホラー小説大賞短編賞を受賞、女優の田中麗奈主演で映画化された 2012 年、『天獄と地国』で第 43 回星雲賞日本長編部門受賞。著書に『人造救世主』『完全・犯罪』『惨劇アルバム』『見晴らしのいい密室』などがある。ブラックホールについても造詣が深い。

企画・司会・進行



石坂千春 (いしがか ちはる)

大阪市立科学館学芸員・中之島科学研究所研究員。1969 年長野県生まれ。1992 年京都大学理学部卒業。1998 年同大学院理学研究科にて博士(理学)取得。専攻は宇宙物理学。1997 年より現職。主にプラネタリウムの企画・制作・投影を通じて天文教育普及にたずさわっている。著書に『宇宙がわかる』(技術評論社)、共著に『「ゴッホの夢」美術館』(小学館)がある。